安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 デシカン乳剤

供給者の会社名称，住所及び電話番号

製造者名 日本農薬株式会社

住所 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目19番8号 京橋ＯＭビル

メールアドレス kankyouanzen@nichino.co.jp

電話番号（平日） 050-3490-3494（環境安全・品質保証部）

電話番号（休日、夜間） 04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

SDS番号 SDS519-00021

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 農薬（茎葉枯凋剤）

使用上の制限 農薬登録の範囲外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性（吸入）	区分4
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	区分1
	発がん性	区分1B
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器系)
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2 (血液, 眼, 消化器系)
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3 (麻酔作用)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1 (聴覚器, 神経系, 呼吸器系)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2 (血液, 眼)
	誤えん有害性	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 引火性液体及び蒸気。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。皮膚刺激。重篤な眼の損傷。吸入すると有害。吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。呼吸器への刺激のおそれ。眠気又はめまいのおそれ。発がんのおそれ。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。臓器 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器系) の障害。臓器 (血液, 眼, 消化器系) の障害のおそれ。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（血液, 眼）の障害のおそれ。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (聴覚器, 神経系, 呼吸器系) の障害。水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地しアースをとること。防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。ミスト／蒸気を吸入しないこと。取扱い後は手をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。環境への放出を避けること。保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。呼吸用保護具を着用すること。

応急措置 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。漏出物を回収すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

廃棄 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性 知見なし。

その他の情報 なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

		官報公示整理番号		
化学名又は一般名	**CAS番号**	**化審法**	**安衛法**	**含有量 (%)**
ピラフルフェンエチル	129630-19-9	-	8-(2)-1755	0.40
キシレン	1330-20-7	(3)-3, (3)-60	(3)-3, (3)-60	>=30 - < 40
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	9002-92-0	(7)-97	(7)-97	>=30 - < 40
エチルベンゼン	100-41-4	(3)-28, (3)-60	(3)-28, (3)-60	>=10 - < 20
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	(5)-113	(5)-113, 8-(1)-1013, 8-(1)-1014	>=5 - < 10
2－メチルナフタレン	91-57-6	(4)-80	(4)-80	>=5 - < 10
1－メチルナフタレン	90-12-0	(4)-80	(4)-80	>=1 - < 5
ドデカン－1－オール	112-53-8	(2)-217	(2)-217	>=1 - < 5
ナフタレン	91-20-3	(4)-311	(4)-311	>=1 - < 5
無水マレイン酸	108-31-6	(2)-1101	(2)-1101	>=1 - < 5
ビフェニル	92-52-4	(4)-13	(4)-13	>=0.1 - <1

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。ただちに水で洗い流す。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。ただちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。1-2杯の水を飲ませる。意識の無いときには、口から何も与えてはならない。吐かせないこと（揮発性液体を含むので、吐かせるとかえって危険が増すことがある）。気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素。砂。

使ってはならない消火剤 知見なし。

特有の消火方法 適切な保護具を着用する。火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置 関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト／蒸気を吸入しないこと。流出物質に触ったり、踏んだりしない。十分な換気を確保する。個人用保護具についてはSDS第8項を参照。

環境に対する注意事項 環境への放出を避けること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 火花を発生させない工具を使用すること。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等） 製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。火花の出ない工具や防爆器具を使う。防爆型の全体および局所排気型換気装置。屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

安全取扱注意事項 裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。静電気の放電防止策を施す。ミスト／蒸気を吸入しないこと。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間のばく露を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。

接触回避 詳細についてはSDS第10項を参照。

衛生対策 あらゆる医学的監視要件を遵守すること。取扱中は禁煙。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗うこと。

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に保管すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

安全な容器包装材料 元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 標準監視手順に従ってください。

ばく露限界値

作業環境評価基準(昭和６３年９月１日号外、労働省告示第７９号）別表

成分	タイプ	数値
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	管理濃度	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	管理濃度	50 ppm
ナフタレン (CAS 91-20-3)	管理濃度	10 ppm

濃度基準値（安衛則577 条の２第２項）

成分	タイプ	数値
ビフェニル (CAS 92-52-4)	TWA	3 mg/m3
無水マレイン酸 (CAS 108-31-6)	TWA	0.08 mg/m3

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値
N-メチル-2-ピロリドン (CAS 872-50-4)	TWA	4 mg/m3
		1 ppm
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	TWA	217 mg/m3
		50 ppm
無水マレイン酸 (CAS 108-31-6)	TWA	0.4 mg/m3
		0.1 ppm
	最大許容濃度	0.8 mg/m3
		0.2 ppm

米国 ACGIH作業環境許容濃度（TLV）

成分	タイプ	数値	形状
１－メチルナフタレン (CAS 90-12-0)	TWA	0.05 ppm	
２－メチルナフタレン (CAS 91-57-6)	TWA	0.05 ppm	
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	20 ppm	
キシレン (CAS 1330-20-7)	TWA	20 ppm	
ナフタレン (CAS 91-20-3)	TWA	10 ppm	
ビフェニル (CAS 92-52-4)	TWA	0.2 ppm	
無水マレイン酸 (CAS 108-31-6)	TWA	0.01 mg/m3	吸引性画分および蒸気。

暴露ガイドライン

日本産業衛生学会 職業曝露限界： 皮膚指定

N-メチル-2-ピロリドン (CAS 872-50-4)	皮膚から吸収される可能性がある。
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	皮膚から吸収される可能性がある。

米国ACGIH許容濃度：皮膚

１-メチルナフタレン (CAS 90-12-0)	皮膚吸収の危険性
２-メチルナフタレン (CAS 91-57-6)	皮膚吸収の危険性
ナフタレン (CAS 91-20-3)	皮膚吸収の危険性

設備対策 防爆型の全体および局所排気型換気装置。適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。ばく露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空気中濃度をばく露限界値以下に保つこと。ばく露限界値が設定されていない場合も、空気中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

眼，顔面の保護具 適切な保護具を着用する。サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。

皮膚及び身体の保護具　適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　液体

形状　油状

色　淡黄色

臭い　データなし。

融点／凝固点　データなし。

沸点又は初留点及び沸点範囲　データなし。

可燃性　引火性液体

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発限界－下限(%)　データなし。

爆発限界－上限(%)　データなし。

引火点　30 °C

自然発火点　データなし。

分解温度　データなし。

pH　3.0 - 5.0 （20 °C）

動粘性率　データなし。

溶解度

溶解度（水）　データなし。

n-オクタノール／水分配係数（log 値）　データなし。

蒸気圧　データなし。

密度及び／又は相対密度

密度　データなし。

相対密度（比重）　0.91 - 0.95 （20 °C）

相対ガス密度　データなし。

粒子特性　データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性　本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性　通常状態で安定。

危険有害反応可能性　一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件　加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。引火点を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。

混触危険物質　強酸化剤。

危険有害な分解生成物　危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性　吸入すると有害。
急性区分に分類される毒性データと成分含量から推定した。
急性毒性(吸入, 蒸気) :キシレン, エチルベンゼン, 区分4
急性毒性(吸入, 粉じんおよびミスト) :ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル, 区分4

製品	種	試験結果
デシカン乳剤		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg メス
経皮		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg オス, メス

皮膚腐食性／刺激性 皮膚刺激。

刺激性腐食性 - 皮膚

デシカン乳剤	結果: 中程度の刺激物 種: ウサギ
無水マレイン酸	結果: 区分1
N-メチル-2-ピロリドン	結果: 区分2
キシレン	結果: 区分2
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	結果: 区分2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 重篤な眼の損傷。製品のデータなし。

刺激性腐食性 - 眼

ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	結果: 区分1
無水マレイン酸	結果: 区分1
１－メチルナフタレン	結果: 区分2
２－メチルナフタレン	結果: 区分2
キシレン	結果: 区分2
N-メチル-2-ピロリドン	結果: 区分2A
エチルベンゼン	結果: 区分2B
ドデカン－１－オール	結果: 区分2B
ナフタレン	結果: 区分2B

呼吸器感作性又は皮膚感作性

ACGIH 感作

無水マレイン酸, 吸入性画分および蒸気 (CAS 108-31-6)	呼吸器感作性 皮膚感作性

日本産業衛生学会 - 気道感作性物質

無水マレイン酸 (CAS 108-31-6)	2 人間に対しておそらく気道感作性があると考えられる物質

日本産業衛生学会 - 皮膚感作性物質

無水マレイン酸 (CAS 108-31-6)	2 人間に対しておそらく皮膚感作性があると考えられる物質

呼吸器感作性 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。製品のデータなし。

無水マレイン酸	結果: 区分1

皮膚感作性

皮膚感作性

デシカン乳剤	結果: 陰性 種: モルモット
ナフタレン	結果: 区分1
無水マレイン酸	結果: 区分1

生殖細胞変異原性 製品のデータなし。

発がん性 発がんのおそれ。製品のデータなし。

ビフェニル	結果: 区分1B
エチルベンゼン	結果: 区分2
ナフタレン	結果: 区分2

ACGIH発がん性物質

1-メチルナフタレン (CAS 90-12-0)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
2-メチルナフタレン (CAS 91-57-6)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)
キシレン (CAS 1330-20-7)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
ナフタレン (CAS 91-20-3)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)
無水マレイン酸 (CAS 108-31-6)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

IARC発がん性評価モノグラフ

エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。
キシレン (CAS 1330-20-7)	3 ヒトへの発がん性を分類できない。
ナフタレン (CAS 91-20-3)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

1-メチルナフタレン (CAS 90-12-0)	1 ヒトに発がん性である。
2-メチルナフタレン (CAS 91-57-6)	1 ヒトに発がん性である。
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。
ナフタレン (CAS 91-20-3)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。

NTP発がん性物質レポート

1-メチルナフタレン (CAS 90-12-0)	発がん性があることが知られている物質
2-メチルナフタレン (CAS 91-57-6)	発がん性があることが知られている物質
ナフタレン (CAS 91-20-3)	合理的に発がん性があることが懸念される物質 発がん性があることが知られている物質

生殖毒性 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。製品のデータなし。

生殖能

N-メチル-2-ピロリドン	結果: 区分1B
エチルベンゼン	結果: 区分1B
キシレン	結果: 区分1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 臓器 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器系) の障害。臓器 (血液, 眼, 消化器系) の障害のおそれ。呼吸器への刺激のおそれ。眠気又はめまいのおそれ。製品のデータなし。

ドデカン－1－オール	結果: 区分 1(呼吸器系)
キシレン	結果: 区分1 臓器: 中枢神経系,腎臓,肝臓,呼吸器系
無水マレイン酸	結果: 区分1 臓器: 呼吸器, 消化管, 肝臓
ナフタレン	結果: 区分1 臓器: 血液, 眼, 気道
1－メチルナフタレン	結果: 区分3 臓器: 気道刺激性
2－メチルナフタレン	結果: 区分3 臓器: 気道刺激性
エチルベンゼン	結果: 区分3 臓器: 気道刺激性
ビフェニル	結果: 区分3 臓器: 気道刺激性
1－メチルナフタレン	結果: 区分3 臓器: 麻酔作用
2－メチルナフタレン	結果: 区分3 臓器: 麻酔作用
N-メチル-2-ピロリドン	結果: 区分3 臓器: 麻酔作用
エチルベンゼン	結果: 区分3 臓器: 麻酔作用

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

キシレン	結果: 区分3 臓器: 麻酔作用
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	結果: 区分3 臓器: 麻酔作用

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (聴覚器, 神経系, 呼吸器系) の障害。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（血液, 眼）の障害のおそれ。製品のデータなし。

無水マレイン酸	結果: 区分1 臓器: 呼吸器系, 血液系
キシレン	結果: 区分1 臓器: 神経系,呼吸器系
エチルベンゼン	結果: 区分1 臓器: 聴覚器, 神経系
ビフェニル	結果: 区分1 臓器: 肝臓, 神経系
ナフタレン	結果: 区分1 臓器: 血液, 眼, 呼吸器系
１－メチルナフタレン	結果: 区分2 臓器: 肺
２－メチルナフタレン	結果: 区分2 臓器: 肺
無水マレイン酸	結果: 区分2 臓器: 腎臓
N-メチル-2-ピロリドン	結果: 区分2 臓器: 骨髄, 肝臓, 肺, 神経系

誤えん有害性 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。製品のデータなし。

エチルベンゼン	結果: 区分1
キシレン	結果: 区分1

12. 環境影響情報

環境影響データ

製品		**種**	**試験結果**
デシカン乳剤			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	甲殻類	2 mg/l, 48 時間 オオミジンコ
藻類	EC50	藻類	1 mg/l, 72 時間 ムレミカヅキモ（緑藻）
魚類	LC50	魚類	7.2 mg/l, 48 時間 コイ
			7.2 mg/l, 96 時間 コイ

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。慢性区分に分類される成分含量から推定した。

残留性・分解性 製品のデータなし。

生体蓄積性 製品のデータなし。

土壌中の移動性 製品のデータなし。

オゾン層への有害性 製品のデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。

地域の廃棄規制	内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水／水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	1993
UN proper shipping name	Flammable liquid, n.o.s. (Ethylbenzene, Xylene)
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary hazard	-
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	3L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

IMDG

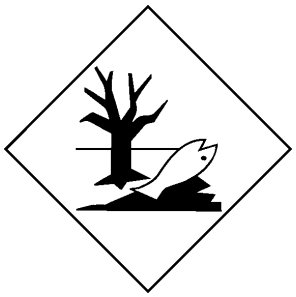
UN number	1993
UN proper shipping name	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Ethylbenzene, Xylene), MARINE POLLUTANT
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary hazard	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-E, S_-E_
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない。
一般情報	IMDGに定める海洋汚染物質。

IATA; IMDG



海洋汚染物質



国内規制 国内輸送については１５項の規制に従うこと。

応急措置指針番号 128

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

第二類物質

エチルベンゼン

ナフタレン

有機則

第二種有機溶剤

キシレン

通知対象物（SDS交付及びリスクアセスメント対象物）（含有量、施行日）

1-ドデカノール; ノルマル-ドデシルアルコール	政令番号 1317	2.0 %
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る.)	政令番号 1953	38 %
ビフェニル	政令番号 1657	0.10 %
エチルベンゼン	政令番号 247	19 %
無水マレイン酸	政令番号 1978	1.0 %
メチルナフタレン	政令番号 2081	7.0 %
ナフタレン	政令番号 1449	1.2 %
N-メチル-2-ピロリドン	政令番号 2108	5.0 %
キシレン	政令番号 426	39 %

表示対象物

1-ドデカノール; ノルマル-ドデシルアルコール	政令番号 1317	2.0 %
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る.)	政令番号 1953	38 %
ビフェニル	政令番号 1657	0.10 %
エチルベンゼン	政令番号 247	19 %
無水マレイン酸	政令番号 1978	1.0 %
メチルナフタレン	政令番号 2081	7.0 %
ナフタレン	政令番号 1449	1.2 %
N-メチル-2-ピロリドン	政令番号 2108	5.0 %
キシレン	政令番号 426	39 %

がん原性物質（労働安全衛生規則第577条の２）

ビフェニル	0.10 %

皮膚等障害化学物質（則第594条の２）

１－メチルナフタレン	2.5 %
２－メチルナフタレン	4.5 %
ビフェニル	0.10 %
エチルベンゼン	19 %
無水マレイン酸	1.0 %
ナフタレン	1.2 %

N-メチル-2-ピロリドン	5.0 %
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る.)	38 %
キシレン	39 %

変異原性が認められた既存化学物質

ナフタレン

がん原性が認められた化学物質

エチルベンゼン

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

エチルベンゼン

ナフタレン

アルカノール（Ｃ＝１０～１６）（Ｃ＝１１～１４のいずれかを含むものに限る。）

Ｎ－メチル－２－ピロリドン

α－アルキル（Ｃ＝１２～１５）－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）（数平均分子量が１，０００未満のものに限る。）

キシレン

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

１－ドデカノール	管理番号 273	2.0 %	(ドデカン－１－オール)
エチルベンゼン	管理番号 53	19 %	(エチルベンゼン)
メチルナフタレン	管理番号 438	2.5 %	(１－メチルナフタレン)
メチルナフタレン	管理番号 438	4.5 %	(２－メチルナフタレン)
ナフタレン	管理番号 302	1.2 %	(ナフタレン)
Ｎ－メチル－２－ピロリドン	管理番号 746	5.0 %	(N-メチル-2-ピロリドン)
ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が１２から１５までのもの及びその混合物に限る。）	管理番号 407	38 %	(ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル)
キシレン	管理番号 80	39 %	(キシレン)

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

無水マレイン酸	管理番号 414	1.0 %	(無水マレイン酸)

消防法 第四類第二石油類(非水溶性液体) 危険等級III

船舶安全法・危規則 引火性液体類

航空法・施行規則 引火性液体類

火薬類取締法

該当せず。

その他の情報 農薬取締法

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
日本化学工業協会　GHS対応ガイドライン、2019年6月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252：2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253：2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

この安全データシート（SDS）は、現在利用可能な最新の参考文献、データなどに基づいて発行されています。このSDSに記載されている情報に対して慎重な評価が行われていますが、その正確さについては一切保証されません。弊社は、この製品が使用される可能性のある全ての条件を予測することができません。取り扱いに対して適切な安全措置を講じることは、使用者各位の責務です。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。